

資 料 提 供	
令和2年7月17日	
担当課 (担当者)	埋蔵文化財センター (下 江)
電 話	0 8 5 7 - 2 7 - 6 7 1 1

共同展覧会「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」の開催

このたび、鳥取県埋蔵文化財センターと鳥取市歴史博物館とが共催で、共同展覧会「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」を開催することとなりました。当センターでは数々の名品を所蔵しながらも展示スペースの不足等からこれまで県民の皆様にご覧いただけませんでしたが、鳥取市歴史博物館のご協力によりまして、100点近くの名品の展示を行います。

また、展示品の紹介を兼ねた連続講座等を実施する他、連携展示として、惜しくも名品展から漏れてしまったものを当センターで展示する「埋文センターの『めいひん』」も開催いたします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、三密を避けるなどの対策を徹底した上で実施することとしています。

記

1 展示期間

令和2年8月1日（土）～9月22日（火・祝） 9：00～17：00（最終入館は16：30）
※8月3（月）・11（火）・17（月）・24（月）・31（月）、9月7（月）・14（月）は休館日

2 会 場

鳥取市歴史博物館 1階特別展示室（鳥取市上町88番地）

3 内 容

旧石器時代から中世までの遺物95点

4 観覧料

無 料

5 主 催

鳥取市歴史博物館、鳥取県埋蔵文化財センター

6 問合せ先

鳥取県埋蔵文化財センター 発掘事業室 下江

電 話 0 8 5 7 - 2 7 - 6 7 1 1

ファクシミリ 0 8 5 7 - 2 7 - 6 7 1 2

展示品の一例

旧石器時代

しもぎたいきゅうばら
下甲 退休原第1遺跡出土石器（大山町）

約35,000年前

鳥取県で最も古い人類の痕跡で、台形石器と言われる平面方形の石器や剥片^{はくへん}などが出土しています。石材は黒曜石と石英です。



縄文時代

たかづみいでぞえ
高住井手添遺跡出土編みカゴ類（鳥取市）

晩期（約2,500年前）

ヒノキを厚さ0.5 cm以下のヒゴ状にしたもので編んだカゴであり、2つのタイプがあります。1つは大型でテイカカズラも使用しており、もう1つは円錐形状で、カゴ目の間隔が広いものです。



弥生時代

くらだにあちた
倉谷荒田遺跡出土鑄造鉄斧（大山町）

後期～古墳時代前期（約1,900～1,700年前）

完形の鑄造鉄斧で、形態から朝鮮半島などからの舶載品の可能性が高いものです。



古墳時代

たかづみうしわだに
高住牛輪谷遺跡出土漆塗壺鐙（鳥取市）

後期（約1,500年前）

ヤマグワを削りぬいて作ったもので、表面にいくつもの稜^{りょう}がつくられ、さらに漆が塗られています。県内唯一の木製壺鐙で、稜をいくつももち、漆が塗られている例は全国でも例がないものです。



古代

しもいちつきじのみねひがしどおり
下市築地峯 東通第2遺跡出土炉底塊（鳥取市）

平安時代（約1,200年前）

9世紀後半に操業された製鉄炉の底に残された残留物^{てっさい}（鉄滓）で、長さ2.5mを超える大型のものです。鉄生産が盛んであった古代伯耆国を特徴づける遺物です。

